

○二枚貝等の生物調査

覆砂場所: 資料3

実施月: 平成 23 年覆砂場所 (平成 23 年 6 月以降の偶数月)
 平成 24 年覆砂場所 (平成 24 年 8 月以降の偶数月)

内容: 覆砂区画内の中央部付近の 1 か所で貝類の資源量を調査
 (漁協アサリ研究会が実施する貝類資源量調査の中で実施)

結果: 貝類 (アサリ、ホンビノスガイ) の分布は覆砂前に確認されませんでした。覆砂後の平成 25 年は前年に引続き、確認されています。

[25 年の状況]

(1) 平成 23 年覆砂場所
 (資料 3 の岸側)

- 平成 25 年のアサリ分布密度は 2~6 月は確認されませんでした。8 月に 51 個/m²で、前年 8 月 (55 個/m²) 並みでした。確認された貝の大きさは殻長 11~16 mm の稚貝が主体でした。
- 平成 25 年におけるホンビノスガイの分布密度は、2~6 月に 40 個前後/m²でしたが、8 月に 10 個/m²と減少しました。貝の大きさは 2~6 月に殻長 40 mm 以上の成貝が主体でしたが、8 月には殻長 11~16 mm が主体となりました。

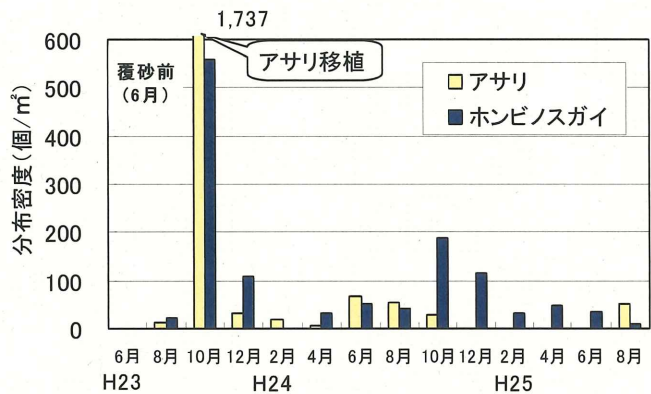


図 貝類分布密度 (平成 23 年覆砂場所)

(2) 平成 24 年覆砂場所
 (資料 3 の沖側)

- 平成 25 年のアサリ分布密度は 2~6 月は確認されませんでした。8 月に 221 個/m²と増加しました。確認された貝の大きさは殻長 4~16 mm の稚貝が主体でした。
- 平成 25 年におけるホンビノスガイの分布密度は、2 月から 4 月に減少し、8 月に 153 個/m²と増加しました。貝の大きさは 2~6 月に殻長 40 mm 以上の成貝が主体でしたが、8 月には殻長 4~16 mm が主体となりました。

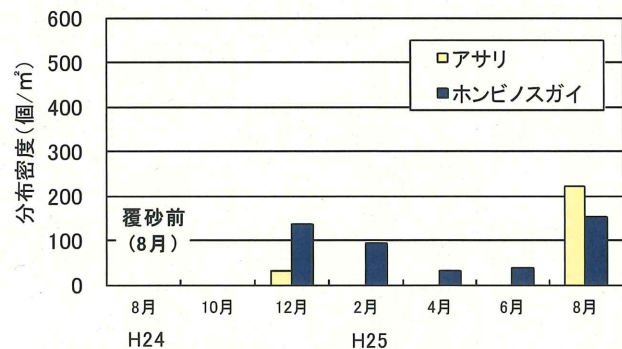


図 貝類分布密度 (平成 24 年覆砂場所)